



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 赤十字かごしま

発行所  
日本赤十字社鹿児島県支部  
〒890-0064  
鹿児島市鴨池新町1番5号  
TEL 099-252-0600

第190号 平成24年4月発行

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

## 日赤鹿児島県支部が創設120周年を迎えます。

日本赤十字社の発足は、明治10年(1877年)の西南戦争で「敵味方の差別なく救護する」という救護団体として設立しました。それから15年後の明治25年(1892年)9月、日本赤十字社鹿児島県支部が創設されました。

今年度、創設120周年を迎えることから、鹿児島県支部の歴史を振り返ってみました。



佐野 常民  
＜博愛社の創設者・  
日本赤十字社初代社長＞



「博爱社(のちの日本赤十字社)創設許可の図」  
佐野常民が、征討総督有栖川宮熾仁親王に創  
設許可された様子

明治10年(1877)5月  
日本赤十字社の前身「博爱社」設立

明治20年(1887)5月  
博爱社を日本赤十字社と改称

明治27年(1894)8月  
日清戦争で救護活動始まる

明治29年(1896)7月  
日本赤十字社鹿児島支部と改称

明治35年(1902)12月  
日本赤十字社初代社長佐野常民の後を受け  
て、二代目社長に松方正義(内閣総理大臣・  
鹿児島市下荒田出身)が就任

大正3年(1914)8月  
第一次世界大戦で救護活動始まる

大正12年(1923)12月  
鹿児島郡中郡宇村郡元開院中の海濱院買収

昭和14年(1939)5月  
谷山町平川2545番地に病院移転、  
錦江療院と改称

昭和24年(1949)12月  
県内に52の赤十字奉仕団が発足

昭和27年(1952)8月  
日本赤十字社法制定、  
日本赤十字社鹿児島県支部と改称

昭和42年(1967)1月  
支部構内に血液センター新社屋完成移転

昭和44年(1969)4月  
鹿児島県青少年赤十字指導者協議会発足

昭和49年(1974)6月  
特別養護老人ホーム錦江園を平川町赤十字病  
院敷地内に開設

昭和51年(1976)年4月  
同方会鹿児島県支部結成

昭和55年(1980)12月  
ベトナム難民援護施設「赤十字垂水園」を垂  
水に設置

昭和61年(1986)4月  
血液センター400ml献血及び成分献血開始

平成4年(1992)10月  
鹿児島県支部創設百周年記念大会開催

平成9年(1997)3月  
鹿児島赤十字病院、災害拠点病院  
(地域災害医療センター)指定

平成24年(2012)9月  
鹿児島県支部創設120周年

※120周年を向かえ、青少年赤十字加盟校による絵画コンクールなどを  
はじめとする、赤十字思想の普及啓発を図る事業を行います。

### 明治

明治19年(1886)11月  
日本政府が  
ジュネーブ条約に加盟

明治25年(1892)9月  
日本赤十字社鹿児島委員部を  
県庁内に設置

明治29年(1896)11月  
日赤鹿児島支部第1回社員総会を  
鹿児島市で開催

明治37年(1904)6月  
日露戦争で救護活動始まる

大正3年(1914)1月  
桜島の大爆発で支部が臨時救護班3個班を編成

大正12年(1923)9月  
関東大震災で鹿児島支部が臨時救護班を被災地に派遣

### 大正

昭和3年(1928)6月  
田上小学校など三団体で少年赤十字発足

昭和16年(1941)4月～21年8月  
太平洋戦争が始まり救護班を編成

昭和26年(1951)1月  
鹿児島市郡元町に支部新庁舎完成

昭和40年(1965)1月  
鹿児島市下荒田町化学血清療法研究所鹿児島血液銀行内に  
鹿児島県赤十字血液センターを開設

昭和43年(1968)4月  
錦江赤十字病院を鹿児島赤十字病院と改称

昭和49年(1974)6月  
鹿児島県赤十字有功会発足

昭和50年(1975)2月  
アマチュア無線赤十字奉仕団結成

昭和52年(1977)11月  
鹿児島市鴨池新町1番5号地に鹿児島赤十字会館  
完成支部事務局、血液センター移転

昭和61年(1986)2月  
血液センター天文館出張所  
「献血ルーム・天文館」開設

平成元年(1989)3月  
ベトナム難民救護施設「赤十字垂水園」を閉鎖

平成7年(1995)1月  
阪神・淡路大震災へ救護班2個班派遣

平成23年(2011)3月  
東日本大震災へ救護班・こころのケア要員等派遣

### 平成



東日本大震災(岩手県陸前高田市)



## 5月は赤十字運動月間です。

日本赤十字社では、赤十字が誕生した5月を「赤十字運動月間」として、赤十字運動に参加し支えていただく社員の募集と赤十字活動に必要な資金へのご協力を広く呼びかけています。

この資金をもとに、災害時の救護活動をはじめとして、地震台風などの自然災害、世界中の戦争・紛争で苦しむ人々に救援の手を差し伸べています。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

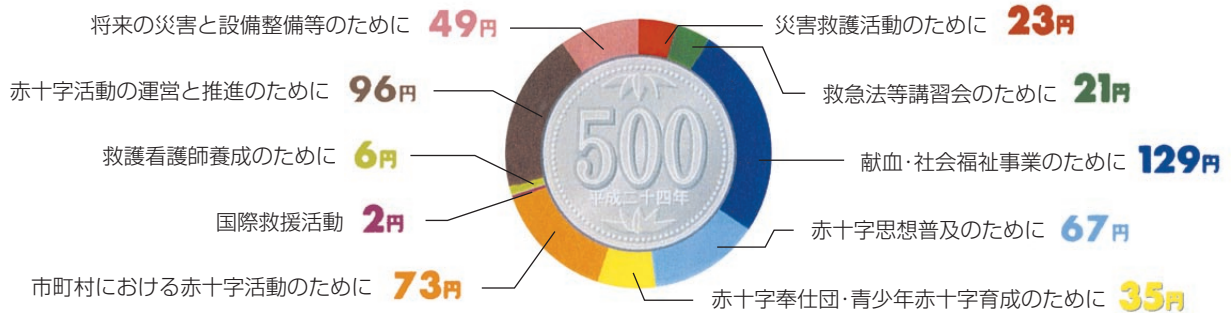
**赤十字の活動を資金で支える「社員」にご加入をお願いします。**

## 社員とは？

赤十字の人道的（世界の平和と人類の福祉増進）活動に賛同し、毎年500円以上の資金協力をしていただく個人・法人の方のことです。

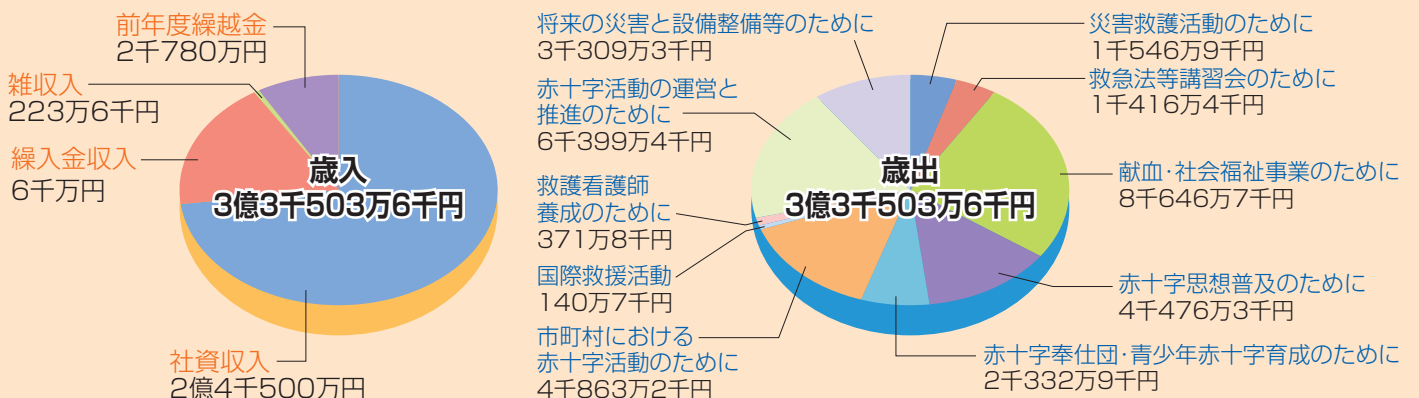
お寄せいただいた大切な資金は、「いのちと健康を守る」ため、さまざまな赤十字活動に使われています。

### みなさまからお寄せいただいた社費(500円)は、次のように使われます。



## 平成24年度日本赤十字社鹿児島県支部予算

鹿児島県支部では、平成24年度においても、人の命と健康を守る人道的使命を達成するため、赤十字活動を積極的に実施してまいります。



※各赤十字施設の収支予算は、ホームページをご覧ください。



## 平成24年度 鹿児島県支部事業計画予算が決まりました。

2月8日(水)、鹿児島市内において平成23年度第2回評議員会を開催し、平成24年度事業計画(案)並びに予算(案)等の審議が行われ、原案のとおり承認されました。

県民の皆さまの期待に沿えるよう、地域に根ざした活動の推進に力を尽くしてまいりますので、今年度もご支援ご協力をお願いいたします。



## 24年度の事業計画(主要事業)

### 1. 国際活動(九州ブロック合同)

- 国際開発協力援助としてカンボジアとベトナム赤十字社に災害対策等支援事業を行います。
- 青少年赤十字海外派遣事業としてベトナムに青少年赤十字メンバーを派遣し、海外の青少年との交流を行います。
- 今年第30回目となる「NHK海外たすけあい」寄付金募集を12月1日から25日まで、青少年赤十字メンバー等の協力を得て実施します。



### 2. 災害対策

- 日本赤十字社の行う最も重要な事業の一つであり、災害発生時に迅速に救護班を派遣し、医療救護活動ができるよう態勢づくりに努めます。
- 県内の各機関が実施する防災訓練に積極的に参加し、各機関との連携強化を図ります。
- 被災者に対し速やかに救援物資(毛布や緊急セット等)を配分できるよう、備蓄量の増量や物資保管庫の整備を行います。

### 3. 講習普及事業「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」

- 県民に健康で幸せな生活をしていただくため、より多くの場所での講習会を開催し、多くの方が受講できやすいように、土・日コースを設けて講習の普及に努めます。
- 近年の災害において高齢者の被災が多く、その影響も深刻化しているため被災した高齢者の避難所生活を支援するための「災害時高齢者生活支援講習」を関係機関と連携しながら実施します。

### 4. 赤十字奉仕団

- 赤十字奉仕団はボランティアとして、赤十字事業を推進する原動力となっていており、各種研修会を開催しながら、赤十字奉仕団の育成とその活動の拡充強化を図ります。
- 災害発生時に被災者支援活動の中心となる「赤十字ボランティア」を養成するため、研修会を開催します。

### 5. 青少年赤十字

- 児童生徒が、学校教育の中で赤十字を正しく理解し実践を図れるよう青少年赤十字の育成強化に努めます。
- 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの開催や指導者養成講習会や研修会を開催します。



### 6. 赤十字大会

- 5月の赤十字運動月間中に、社員の増強と赤十字思想の普及を図る目的で「全国赤十字大会」を開催します。  
平成24年5月8日(火) 東京都明治神宮会館
- 赤十字事業の推進に貢献された方々を顕彰し、日本赤十字社の社旨を広めることを目的として「九州八県赤十字大会」を開催します。  
平成24年11月14(水) 佐賀市文化会館(予定)

### 7. 広報活動

- マスコミや各種イベント、刊行物など各種広報手段を活用して積極的な広報活動を行います。
- ホームページを活用して、露出度を一層高め赤十字思想の普及に努めます。
- 明治25年9月6日、鹿児島県支部が創設されてから今年度120周年を迎えます。「作文、絵画コンクール」など赤十字思想の普及や将来につながるような記念事業を行います。



### 8. 社員増強運動

- 日本赤十字社の行う各種事業の財源は、県民の皆さまからお寄せいただいている「社資」によって賄われています。財政的基盤である社員の増強と社資の確保を図るため、5月の赤十字運動月間を中心に、県民の皆さまにご理解ご協力を呼びかけます。

# 東日本大震災

## 笑顔が希望に、希望が力に

### 活動資金（社資や寄付金）にご協力いただいた皆さまへのご報告とお礼。

日本赤十字社は、震災発生直後から総力をあげて活動を展開してきました。救護活動班や介護チーム、こころのケア班などに加え奉仕団・ボランティアも一丸となった取り組みは、被災者のいのちと健康を守る上で大きな役割を果たしたと自負しています。

こうした活動が可能だったのは、日ごろから社資や寄付金による資金面で日赤を支えてくださっている多くの皆さまのお陰であり、ここにあらためて感謝を申し上げます。



### 義援金をお寄せいただいた皆さまに、厚く御礼申し上げます。



今回の震災では、全国で3100億円、県内でも13億円を超える義援金が寄せられました。義援金が日赤に託されたのは、赤十字への期待と信頼があればこそだからです。厚くお礼申し上げます。お預かりした義援金は全額、15都道府県の義援金配分委員会を通じ被災者へお届けされていることをご報告いたします。

### 海外救援金による復興支援事業について。

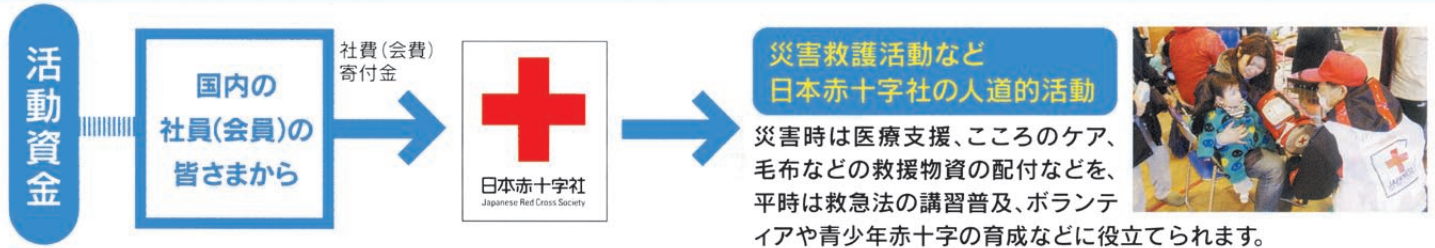
世界の人々の善意がこめられた「海外救援金」は95の国や地域の赤十字・赤新月社などから約563億円とクウェート政府から約400億円（原油500万バレル）の併せて963億円が寄せられ、これらの財源により仮設住宅への家電製品6点セット配布などの赤十字が実施する復興支援事業は、被災者の生活支援に役立てられています。



**2012年9月30日まで、義援金の受付を行っております。**

**私たち赤十字はこれからも被災された皆さまへの支援を続けて参ります。**

### 赤十字活動資金の流れ



### 東日本大震災における義援金の流れ





# あなたの社費（会費）・寄付金は、 このような活動に使われています。



## 万が一の災害に備えて

### 国内災害救護

- ◎赤十字病院を中心とする医師・看護師等で構成される医療救護班（8班）を常備し、被災地に派遣します。
- ◎災害救援物資を速やかに配布できるよう、支部及び県下各地の37常備地区（市町村社会福祉協議会等）に毛布5,000枚、ブルーシート4,000枚等を備蓄しています。

## 赤十字活動を支える大きな力

### 赤十字奉仕団活動

- ◎各市町村で組織している地域赤十字奉仕団や専門知識、技術を持つ特殊赤十字奉仕団など75団28,000人が、広域的なネットワークを活かし、災害時の炊き出しや応急手当などのボランティア活動を行っています。



## 世界的ネットワークを活かして

### 国際活動

- ◎世界187カ国の国際赤十字の一員として災害や紛争で被害を受けた人々の緊急支援や、保健衛生事業等の国際開発協力援助を行っています。

## 次代を担う子どもに思いやりの心を

### 青少年赤十字

- ◎幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校あわせて約450の加盟校では、児童・生徒が「気づき・考え・実行する」を態度目標として地域でのボランティア活動を実践しながら人を思いやるやさしい心を育てています。
- ◎海外の青少年赤十字メンバーとの交流を通じ、広く国際理解、親善を深めています。
- ◎世界の開発途上国の子どもたちを支援するなどのため、1円玉募金や海外たすけあい募金活動を行っています。



## とっさの手当が命を救う

### 救急法等の講習

- ◎緊急時の手当や事故防止に必要な知識、技術を学ぶ「救急法」をはじめ、「水上安全法」、「幼児安全法」や高齢者の介護が学べる「健康生活支援講習」などの講習を行っています。

## 人の痛みにやさしく寄り添う看護を目指して

### 看護師養成

- ◎福岡県の日本赤十字九州国際看護大学では、赤十字の理念を基調とし、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師を養成しています。



# — 県内の赤十字施設からのお知らせ —

## 鹿児島赤十字病院改築

鹿児島赤十字病院は大正12年に現在の郡元に開設され、昭和14年に現在地（平川町）に新築移転しました。昭和51年に東病棟・給食棟を改築、次いで昭和57年に南病棟新築、平成2年管理診療等、リハビリ棟改築を経て、現在の建物となっています。

患者さま中心の医療を提供し、地域医療機関等と連携しながら、救急医療や災害救護、専門性の高い医療を充実させてまいりましたが、今後、更なる地域医療への貢献をはかり、専門性の高い医療が提供できるよう病院改築を実施することとなりました。

平成23年12月に院内建設委員会が設置され、現在、患者さまにとってよりよい医療が提供できるよう、職員が一丸となって改築において検討をすすめています。平成25年工事着工し平成26年上半期に竣工予定となっております。工事の間はご迷惑おかけいたしますが、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

## 特別養護老人ホーム錦江園全面改築

錦江園は、昭和49年6月に開設された日本赤十字社最初の特別養護老人ホームで、錦江湾に面し、前方に鹿児島のシンボルである「桜島」を望む、風光明媚で閑静な環境に位置しています。

開設以来38年が経過し、建物・設備の老朽化が著しいことから今回全面的な建て替えを行うことといたしました。

建て替えにあたりましては、利用者さま一人ひとりの生活環境を豊かにし、利用者さまのご希望に沿った質の高いケアを行うために、時代のニーズにあった全ユニット型個室を生活の本拠とする施設整備を行いたいと考えております。

これまで、鹿児島市をはじめ関係機関との協議・検討を行いながら、用地測量調査や基本設計等を実施してまいりました。これからの取り組みとしましては、平成24年度上半期に改築建物の実施設計や仮設建物の設置工事を行い、平成24年10月には仮設建物への入居移転を行い、その後現在の建物を解体したうえで、平成25年1月に改築建物の建築工事に着手、平成26年春に竣工する予定となっております。



## 血液事業・広域的な事業運営体制を開始

— さらに安全で安定的な血液確保に努めてまいります —

日本赤十字社では、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に基づく血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保等のもとより、薬事法等の関係法令に則した適正かつ、効率的、合理的に事業を行なうため、全国を7ブロックに分け、これまでに検査部門・製剤部門を集約して、安全な血液製剤の安定供給と血液事業の効率的運営を行なってまいりました。

平成24年4月からは、更に国民に信頼される効率的で持続可能な事業運営体制の確立を目的として、全国7ブロックにおける広域的な事業運営体制が導入されます。

この事業の広域化による献血の受け入れや血液製剤の供給体制の変更はございません。

鹿児島県赤十字血液センターでは、引き続き、県民の皆さまにより愛される新しい地域密着型の地域センターを目指し、全人的な健康づくりと献血等『利他』の地域づくりや輸血医療技術の支援等に積極的に取り組んでまいります。



# ～いのちを救う献血にご協力ください～

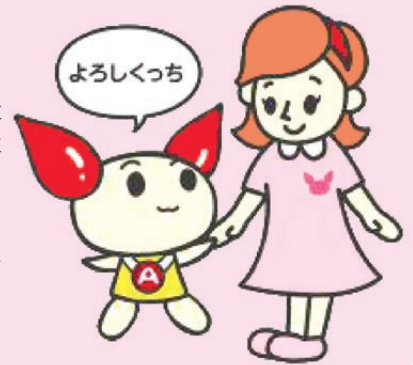
## 「誰かのために・・・」

2011年、鹿児島県では72,455人の方に献血にご協力いただき、たくさんの命を救うことができました。本当にありがとうございました。

人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、まだ人工的に造ることができません。さらに血液は生きた細胞で、長い期間にわたって保存することもできませんので、輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず皆さまの献血が必要となります。

鹿児島県では、少子高齢化及び疾病構造の変化等により血液の需要が増加傾向にあるとともに、若年層を中心に献血者数が年々減少傾向にあります。

誰かのために・・・皆さまの献血へのご協力をお願いします。



## 聞いて効いて 「ジェネリック医薬品について」

鹿児島赤十字病院 薬剤課  
第一薬剤係長 若松健太郎



最近、「ジェネリック医薬品」という言葉を耳にすることがあると思います。今回の「聞いて効いて」ではこのジェネリック医薬品についてお伝えしたいと思います。

### (1) 先発医薬品とジェネリック医薬品

先発医薬品とは、従来に無い新しい薬効を持ち、臨床試験（治験）によって、その有効性や安全性が十分に確認され、厚生労働大臣から承認された医薬品のことです。ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の特許が切れた後に、先発医薬品の有効成分や規格等が同じものであるとして、臨床試験（治験※）を省略して、厚生労働大臣から承認された医薬品のことです。

### (2) ジェネリック医薬品のメリット

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と有効成分や効き目は変わらず、お薬代が安くなるということが最大のメリットです。ジェネリック医薬品の種類にもよりますが、先発医薬品の3割、中には5割以上安くなるお薬もあります。

### (3) ジェネリック医薬品の安全性

ジェネリック医薬品の有効成分は長い間、実際に使われてきた先発医薬品と同じです。また、ジェネリック医薬品は、先発医薬品と品質・有効性・安全性が同等であるものとして、厚生労働大臣から製造販売の承認を受けておりますので、安全なお薬であるといえます。

### (4) ジェネリック医薬品が安い理由

製薬企業が、先発医薬品（新薬）を開発するのに要する期間は約15～20年、その費用は数百億円ともいわれています。一方、ジェネリック医薬品は、すでに医薬品として販売されている薬の特許満了を待って製造しますので、研究・開発費用が大幅に削減でき、その結果、価格を低く設定することができます。

### (5) ジェネリック医薬品に対する取り組み

厚生労働省では、ジェネリック医薬品の使用を促進しており、平成24年までに数量ベースで30%以上とすることを目標としています。ジェネリック医薬品の普及は、患者さんの自己負担の軽減、医療保険財政の改善につながります。

※「治験」とは、新しい医薬品の有効性（効果・投与量・投与方法）と安全性（副作用の種類・頻度）を確認するため、人に対して行う臨床試験のことをいいます。

# 平成24年度 赤十字講習会

・会場について記載のないものは県赤十字会館で開催します。  
 ・各講習とも定員 30 名（ただし 10 名未満の場合は開催できません）

## ○救急法 あなたの勇気で救える命がある！

### ◆救急法（基礎講習） **リニューアル!**

心肺蘇生やAEDの使い方について学びます。  
 ○対象:15歳以上○教材費:1,500円

○日程 9:00~16:00  
 ①5/12 ②7/14 ③8/18  
 ④10/13 ⑤10/28 ⑥12/8 ⑦9/15【鹿屋会場】

### ◆救急法(救急員養成講習)

日常での事故防止、急病の手当て、出血や骨折などのけがの手当てのほか、災害時の心得などについての知識と技術が学べます。  
 ○対象：15歳以上で救急法基礎講習修了者 ○教材費：3,000円

○日程 9:00~16:00※は9:00~17:30まで  
 ①5/13・19・20  
 ②7/14・15・16※ ③9/15・16・17※【鹿屋会場】  
 ④10/14・20・21 ⑤12/9・15・16

## ○水上安全法 知れば安心！水のことからプールや海で救助の方法を学びませんか？

### ◆救助員養成講習Ⅰ

プールでの水の事故防止、泳ぎの基本と自己保全溺れた人の救助及び応急手当について学びます。  
 ○対象：18歳以上で救急法基礎講習修了者 ○教材費：600円

○日程 9:00~17:30  
 ①8/19・25・26  
 ②11/11・18・25  
 ○会場 県赤十字会館・鴨池公園水泳プール

### ◆救助員養成講習Ⅱ(海での講習)

海での事故防止、自己保全、溺れた人の救助について学びます。  
 ○対象：18歳以上で救助員Ⅰ有資格者 ○教材費：100円

○日程 9:00~17:00  
 ①9/8・9・15  
 ○会場 磯海水浴場

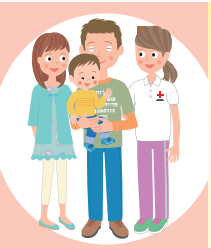
## ○健康生活支援講習 素敵に年を重ねるざりげなく支える

高齢の家族や地域の高齢者との接しかたと介護のしかた自身が高齢期をすこやかに迎えるための知識や技術について学びます。単元(各2時間)ごとの受講が可能です。

単元1:高齢者の健康と安全	単元4:車椅子への移乗など
単元2:地域における高齢者支援	単元5:着替えなど
単元3:介護の留意点など	単元6:認知症、床ずれなど

○対象 15歳以上  
 ○教材費 1,000円  
 ○日程 10:00~17:00  
 ①7/7・8  
 ②H25.1726/27

## ○幼児安全法 こどもに安全をプレゼント！



こどもに起こりやすい事故の予防とけがの手当て、かかりやすい病気の対処などについて学びます。  
 乳幼児の心肺蘇生、AEDを用いた除細動の方法が新しくなりました。  
 小さなお子さまのいらっしゃる保護者、幼稚園、保育園の先生方はこの機会に2日間となった講習を受講してみませんか？  
 ○対象：15歳以上○教材費：1,500円  
 ○日程 9:00~17:00 ①6/9・10②11/3・4

## ○資格継続研修

○対象 赤十字救急法等資格取得者で資格取得後2年以上経過し、当該資格有効期間内の方  
 ○教材費 1,000円  
 ただし健康生活については500円  
 ○日程 10:00~16:00  
 ・救急員 ①6/3②7/22 ③9/23 ④H25.2/24  
 ・水上安全法救助員Ⅰ・Ⅱ ①6/24  
 ・健康生活 ①9/30  
 ・幼児安全法 ①6/17

講習のお申し込み・お問合せはこちらまで。→ 講習専用：099-256-2099

## 社会貢献活動をお考えの企業さまへのご案内

日本赤十字の活動は、赤十字の趣旨にご賛同いただいた皆さまからお寄せいただいた浄財で支えられています。人間のいのちと健康、尊厳を守る赤十字の活動に、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### ～企業さまによるご協力例～



- 創立記念事業としての寄付
- チャリティイベントの収益金を寄付
- 売上金等の一部を寄付
- 従業員のみなさまや店舗利用者さまによる募金  
 ※ご希望の場合は、募金箱を貸出いたします。

- 寄付金付き自動販売機の設置  
 コーヒー、ジュースなどお買い上げのたびに、一定の額が赤十字の寄付金となります。  
 事業所等での設置についてぜひご検討ください。

### ～法人社員証（アクリル製ディスプレイパネル）～



日本赤十字社鹿児島県支部に事業資金のご協力があつた法人・団体さまに、社会貢献PR等にご活用いただくため、左掲のご協力を証する「社員証（会員証）」をご希望により贈呈させていただきます。（A6サイズ 105mm×148mm）



- 売上金の一部が赤十字への寄付金となります。
- 設置者の社会貢献活動としてアピールできます。
- 設置者さまのご負担はございません。

※詳しくは日赤鹿児島県支部までお問い合わせ願います。



日本赤十字社 鹿児島県支部組織振興課

ホームページ <http://www.minc.ne.jp/nisseki/>

代表メール [shibu-rc@po.minc.ne.jp](mailto:shibu-rc@po.minc.ne.jp)

☎ 099-252-0600

日赤鹿児島県支部

検索